

No. 130着物のアップサイクル提案
～眠っていた着物の魅力の継承～

A22AB046 神谷麻琴

Sophistication



Dignified



Kimono mood



研究目的

着物は代々着用され続けることが多く、親から子への贈り物として思い入れのあるものが多い。着物の着用者数は減少傾向にあり、アップサイクルも行われているが、着用者数は増えず、着物に込められた思いまでも表現された着物のアップサイクルも見られない。

本研究は、祖母のダンスに眠っていた着物を取り上げ、着物の良さは残しつつ、新たな価値を生み出すことで「祖母の思い出」と「着物本来の良さ」を今後に継承できる作品の制作を目的とした。

Design



デザインコンセプト

「着物の美しさ・洗練された雰囲気」を最大限に活かしながら、「生まれ変わり、新たな価値を生み出す」ことを目標に、留袖の黒と訪問着の黄緑を組み合わせ、着物に配されている柄の雰囲気を壊さないように意識した「シックな印象」をデザインコンセプトとして設定した。

Toile check



着物の柄を最大限に活かし、残布が少なくなるように裁断



繊細な着物地を丁寧に縫製

デザインポイント

着物の持つ「直線」と「シンメトリーデザイン」を活用しつつ、着物にない「曲線」と「アシンメトリー」なデザインを加え、着物らしさを継承して双方を融合させたデザインとした。

Completed work



祖母による作品評価・感想

柄や、作品の雰囲気を通して着物自体を活かして作ってあると感じる。大切な着物を孫にこのように現代風な作品として作りかえてもらうことができ、新たな価値が生み出されて嬉しい。

総括

本研究の「着物への想いの継承」「着物の良さを残しつつ新しい価値を生み出す」という目的を十分に果たすことができた。この作品を通して多くの方に着物の良さと新たな価値を感じてもらいたい。

- ・タイトで洗練したイメージになるよう左袖はシャープなデザインに
- ・右袖にカフス、裾にプリーツ、胸元にタッキングなど、着物にない要素を導入
- ・留袖の柄を生かしたオーバースカート、訪問着の柄を生かした右袖、背面に家紋で祖母の想いを継承